

薬剤師のための健康食品情報提供ツールの開発

Development of Health Food Information Tool for Pharmacist

○ 荒木啓佑 重田まりあ 永田佳子 金澤秀子 (慶應義塾大学)

Keisuke ARAKI, Maria SIGETA, Yoshiko NAGATA, Hideko KANAZAWA
Faculty of pharmacy, Keio University

Abstract: Recently, information on health and diet has become the biggest interest among the people in Japan, and thus is now available on television, in magazines and on the Internet. These overflow information would rather affect one's lifestyle and use of medical service, which might even lead to health hazards. Therefore it is important to disseminate the proper information, including importance of well-balanced diet and physical activity for health promotion and maintenance, the safety and effectiveness of food and food components based on scientific evidence, actual effects of health foods, and difference between food and medicine. Currently the role of the pharmacist has shifted from traditional dispensing and drug administration to health care and the provision of drug information. Pharmacist should prepare and provide the information of not only drugs but also health foods from the view point of consumers. Under this circumstance, we developed information tool on safety and effectiveness of health foods for pharmacist.

Key Words: Health foods, Information tool, Pharmacist

1. 背景/目的

近年、健康食品が広く普及してきているが、情報が氾濫し消費者の混乱を招いているとともに、医療従事者の中に健康食品の専門家が少ないなどの問題がある。一般消費者と薬剤師を対象に実態調査を行ったところ、健康食品の多くが薬局・ドラッグストアで購入されており、適切な情報を提供する役割が薬剤師に期待されているといえる。しかし、現状では薬剤師の多くが健康食品についての知識不足を認識していることから、正確な情報提供の助けになるツールが必要と考えられる。そこで、健康食品について消費者が理解しやすく、薬剤師が使いやすいツールを考案し、作成することを目的とした。

2. 方法

一般の消費者および151名の薬剤師にアンケート調査を行い、問題点を抽出した。その結果と、薬局及び病院に勤務する薬剤師、実務実習終了後の薬学生、消費者などから意見を聞き、それらをもとにカード式の情報提供ツールを作成し、病院24施設の医療スタッフに配布した。(Fig. 1)

※カード式情報提供ツール

形態：A5サイズ 厚紙製 2穴リングとじ

内容：「健康食品と薬の違い」「注意の必要な健康食品」

携帯性が高く、情報提示が迅速に行え、情報の差し替えが容易であることからカード式とした。カードの大きさ等は、携帯性と見やすさのバランスを考慮して選択した。また内容については、医薬品的な作用を期待させる健康食品が氾濫していることと、薬剤師にとっても両者の違いを説明することが難しいという声が多いことから「健康食品と薬の違い」を、加えて臨床では健康食品と薬物の相互作用や、特定の疾患を持つ患者が使用すべきでない健康食品などの情報が特に重要と考えられることから、「注意の必要な健康食品」をテーマとした。

そして、ツールの使用に関するアンケートも配布し、良い点・悪い点などについてフィードバックを受け、その結果をもとに改良を加えていく。(Table. 1)

また、いずれ情報量が増えた場合に、カードでは携帯性が低下してしまうことと、情報の更新や改訂に印刷し直す

費用と時間がかかる問題がある。それら問題点の克服には、カードの内容をデータ化して、携帯用の情報端末で使用できる形態が理想的である。そこで、keynote アプリケーションを用い、iPadで再生できるようにした。(Fig. 2)



Fig. 1. Information cards for Health foods



Fig. 2. Information cards on iPad

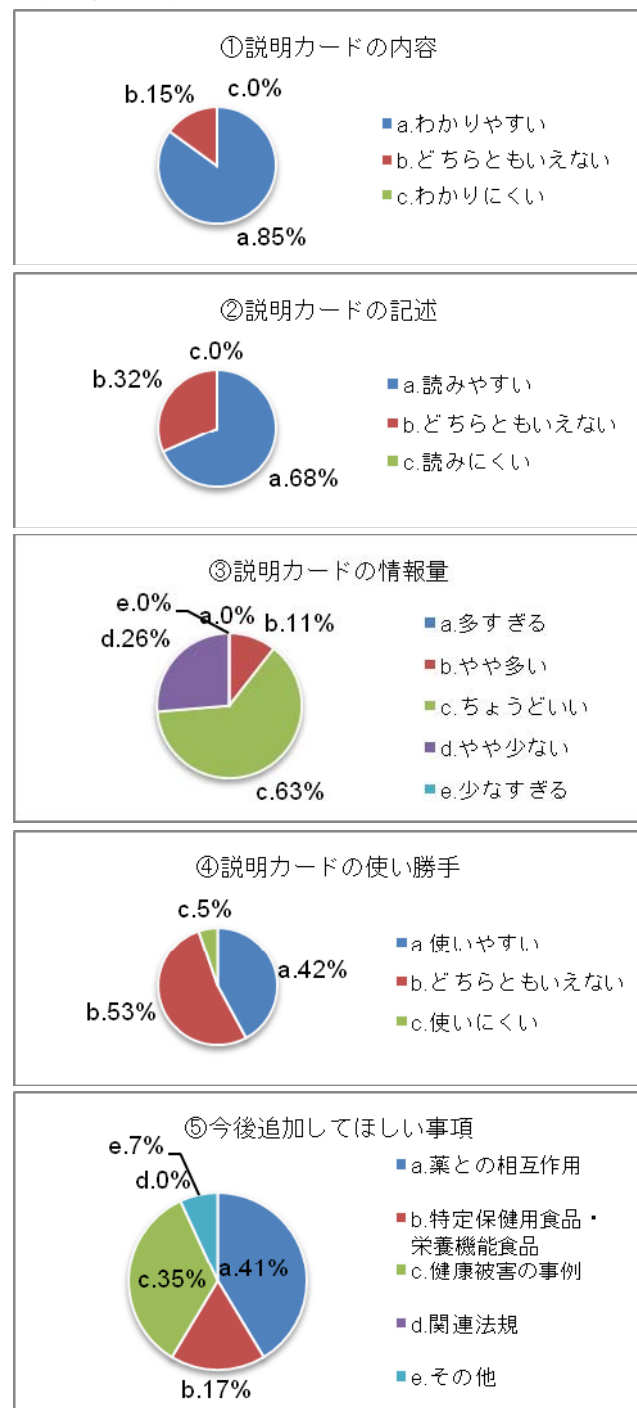
Table 1. The content of survey questionnaire

ツールに関するアンケート内容	
①	説明カードの内容はわかりやすいか
②	説明カードの記述は読みやすいか
③	説明カードの情報量は妥当か
④	説明カードの使い勝手はどうか
⑤	今後説明カードに追加してほしい事項(複数回答可)
⑥	その他、意見・感想

3. 結果

アンケート返送施設：14 箇所（2011 年 9 月 7 日時点）

回答者数：20 名



※その他・・・サプリメント、目次

Fig. 3. Result of the Questionnaire survey for information cards

Table 2. Opinion results for survey

改善すべき点として寄せられた意見	
①内容	根拠が分かりづらい
②記述	絵柄、字の大きさ(統一感が無い)
③情報量	補足(根拠文献、耐容上限量など)
④使い勝手	ページ検索(タブ、見出し、目次など)とじ具(めくりにくい)、カードが小さい

4. 考察と今後の展開

カードの内容、記述についてはおおむね好評といえる。ただ、複数の人間が分担して作成したため、絵柄や字の大きさ等のデザインについて改善を求める声が多く、今後作成するカードは印刷前に統一感をもたせるとともに、既に作成したカードについては極端に違和感があるものを修正していくことを検討している。

情報量に関しては、おおむね現状維持で問題ないようだが、必要最小限にしたためやや少ないという意見と、それでもやや多いという意見もあり、現場のニーズを完全に満たすことの難しさが示された。しかしながら、正確な情報の提供が必要であることに鑑みて、現在と同等か、それより少し多い程度の情報量としていくべきだと考えている。

使い勝手については、主にページ検索のし難さと、ページのとじ具に関する問題点、カードの大きさが挙げられていた。今回はカードだけを配布し、とじ具は各病院に任せていたため、使用するとじ具の種類や使い方によっては扱いにくくなってしまったり、自由に差し替えが行えるカード式の利点が活かせなくなってしまったのだと推察される。今後は使いやすく、低コストなとじ具を付けて配布するなどの対策が必要と考えられる。また、ページ検索については、カードは差し替えができるためページ番号をつける方式は適さないと考えられるので、テーマごとにタブを付けていく方式をとっていくのが妥当であろう。カードの大きさについては、コストや携帯性も考慮して変更すべきかどうかを今後判断していく。

今後追加していくべき内容に関しては、医薬品との相互作用・健康被害の事例について追加を求める声が多いことから、主に相互作用の多いもの、売り上げの大きいもの、重大な健康被害の出ているものについて、情報の充実をはかっていくことを検討している。

以上のように改善の余地は大きいものの、アンケート結果から今回の情報提供カードは健康食品の情報ツールとして有用であることが示唆された。今後、デザイン等の改良を重ねた上で、一層の内容充実を図っていく予定である。

また、現在配布しているカードについては iPad での閲覧が可能となったため、今回のアンケート結果を踏まえてこちらも改良を加えた上で、医療現場での実用性を確認する予定である。そして有用性が確認できれば、iPad のみではなく、スマートフォン等の携帯端末で使用可能なアプリケーションとして配布することも検討している。

5. 謝辞

本研究の一部は厚生労働省科学研究費「健康食品の情報提供システム体制の構築と安全性確保に関する研究」に係る補助金によるものである。